

心と体の感覚を大切にした学び

大野の杜

大野城市立
大野中学校
学校運営協議会
通信

第3号

R8.10.27 発行

責 任
文 責
地域連携推進担当
横光 雄介



や言語能力、情報活用能力の重要性が高まっていることにも話題が及びました。人は心や体の感覚を基に判断する一方、AIは大量のデータから確率的に判断しています。そのため、実際の体験や人との関わりを通して得られる学びが、これからますます重要になるとの意見が交わされました。

委員の皆様からは、「次期学習指導要領の方向性も見据えた大変すばらしい授業実践であった」との評価をいただきました。

10月23日、第3回学校運営協議会を開催しました。今回は全学年で実施した「心の教育」の授業を参観していただくとともに、今後の教育課程の方向性や学校教育活動について協議を行いました。



授業参観では、大文字まつりを題材とした授業や、生徒同士が対話を重ねながら考えを深めていく学習の様子を参観していただきました。委員の皆様からは、「地域の行事を題材にしている点に大野城市らしさを感じた」「読み応えのある教材を活用しながら、生徒が登場人物の心情を丁寧に読み取っていた」といった感想が寄せられました。また、AIが普及する時代だからこそ、文字情報を読み解く力

委員より

- 大文字まつりを題材にした授業は、大野城市らしさを感じられる内容でよかった。
- 読み応えのある資料を活用しながら、生徒が心情を読み取る学習が行われていた。
- 文字情報から相手の考えや思いを読み解く力は、AI時代においてますます重要になる。
- 生徒が考えを交流しながら学びを深めており、次期学習指導要領も見据えた優れた実践である。
- 防災学習においては、登下校時の防災に関しても取り扱ってほしい。

伊藤先生より



福岡教育大学
教授 伊藤克治 先生

- 心や体の感覚を通して得られる学びは非常に重要であり、直接触れたり、その場の空気を感じたりする経験は対面だからこそ得られるものです。
- 生徒が楽しそうに対話する姿が印象的であり、安心して発言できる心理的安全性の高い教室づくりができています。
- 本校の「志タイム」は、生徒が主体的に考える力を育てる大変意義のある取組だといえます。
- 探究的な学びでは「課題の設定」が重要であり、そのためには新たな発見や疑問に出会う「気付く場」が必要です。

議事報告

- (1) 前期学校評価について
- (2) 学校の様子について
- (3) 地域連携推進活動について
- (4) 今後の学校行事について
- (5) 教育課程の変更について

(1) 前期学校評価について報告を行いました。学習面や学校生活に関するアンケート結果をもとに、本校の成果や課題を確認するとともに、今後の改善の方向性について協議を行いました。

(2) 学校の様子については、生徒の学校生活や授業の様子について報告を行いました。特に、「心の教育」の授業参観を通して、生徒が主体的に考え、対話を通して学びを深めている様子を見ていただきました。

(3) 地域連携推進活動について実施状況について報告しました。地域とのつながりを深めるとともに、生徒が地域の課題や魅力に気付き、自らの学びにつなげていく機会となっていることを共有しました。

(4) 今後の学校行事については、生徒の成長につながる教育活動の充実について協議しました。

(5) 教育課程の変更については、教育委員会より今後の教育課程の見直しについて説明がありました。過当たりの授業時数の削減を含めた変更の方向性が示され、今後の学校教育の在り方について情報共有を行いました。

次回連絡

第4回学校運営協議会

令和9年2月19日(金) 10:00～11:30

於 本校多目的室